

「代表月間」

サッカーを愛する皆様こんにちは、日本は梅雨時でじめじめした毎日をお過ごしなのでしょう？ここ南半球のニュージーランドは冬に入りました。ニュージーランドの冬は、気温的には日本のように寒くはありません。特に北島（南半球は北に行くほど暖かい）の上の方に位置するオークランドは、どんなに気温が下がっても氷点下になるようなことはありません。しかし、ニュージーランドの冬は雨が多く風が強いので、ある意味日本の冬よりすごしにくいかもしれません。特に、毎日グラウンドでコーチをしている私たちにとっては、非常にやりにくい時期ではあります。ただ、グラウンドは芝生なので少々の雨ではプレーに影響がないという意味では、助かります。

さて、今月はコパアメリカにはじまり、U20の世界選手権、そしてアジアカップがあり、いわゆる代表月間ですね。個人的には、どの大会も色々な意味で非常興味があるのでたのしみにしています。まず、コパアメリカは、個人的に何度か親交があるドンガ監督とジョルジーニョコーチの若手コンビがロナウジーニョとカカを欠くなか、それでもスター軍団の王国ブラジルをどうやって導いていくのかとても興味があります。二人とも選手としてはワールドカップで優勝していて申し分のないキャリアをもっていますが、コーチとしてはキャリアは二人ともゼロ。似たようなケースで、前回のW杯のホスト国ドイツが、コーチとしてキャリアが一切なかったクリンスマン氏を監督として起用し、かなり世界を驚かせましたが、実際はレーブ氏（現ドイツ代表監督）をアシスタントコーチに据え、チーム戦術やトレーニングは彼が指揮をとっていました。このコンビは実は、非常に理にかなっていてバランスが良かったようで、ドイツ国内のメディアや実際の選手からはとても受けが良かったそうです。

ホスト国としての重圧や選手の取りまとめは、W杯優勝経験があり若くてカリスマがあるクリンスマン氏が請け負い、レーブ氏はチームの戦い方や戦術の構築に集中できた。準決勝でイタリアに敗れたものの、大会後にいろいろなドイツ人にききましたが、皆おおむね今回のW杯には満足しているようすです。

ところが、ドンガ・ジョルジーニョコンビは、クリンスマン氏を二人据えたようなもので、二人ともまったくコーチのキャリアがない！王国ブラジルも随分思い切った采配をしたものだと驚きました。前回のW杯でふがいない姿を見せてしまい、何かを変えたいという王国の意思が感じられる采配だと思います。ここまでの国際試合では、かなり無名の若手を起用し結果もまずまずのようです。ただ、この文章を書いている時点でメキシコ相手に大会初戦をいきなり0 - 2で落とすというたいへんなスタートを切ってしまったので、この後どのように立て直していくかがみものです。

カナダでU20の世界大会が開かれます。日本代表のアシスタントコーチの森保氏はサンフレッチェと一緒にプレーをした仲で、お互い引退した後もよく連絡を取りあい、普段からコーチとして色々な情報を貰っています。人間的に尊敬している方なので、是非成功して

ほしいと思っています。

最後はアジアカップですが、日本代表の 3 連覇がかかっているというだけでなく、オシム監督の志向するサッカーがアジアでどこまでやれるのかということに尽きると思います。日本サッカーは世界の舞台に立って 10 年そこそこ、サッカー先進国から学ぶ時代は終わりつつあり、これからは学んだものから実際にどのようなサッカーを目指していくか試行錯誤の時代に入ったといえると思います。

オシム監督の志向するサッカー = 体格に劣る日本人が俊敏性、機動性、勤勉性をいかして賢く戦うというサッカーは、個人的には非常に理にかなっていると思うし今回の大会である程度の結果を出すことが出来れば、少なくともつぎの W 杯まではこのスタイルのサッカーが日本サッカー全体の指針となるはずですが、しかしながら、いくら理にかなった指針であったとしても、結果が伴わないと説得力を失い、メディアの批判も含めて日本サッカーの混乱を招きかねないので、そういう意味では非常に興味のある大会になると思っています。

また個人的には、今大会から始めてアジアに参戦するオーストラリアには注目をしなくてはなりません。私自身オーストラリアリーグでプレーをしたこと、今回の代表チームの監督のアーノルド氏はサンフレッチェ時代のチームメート。オーストラリアは、今大会後に監督として前回のヒディング氏のようなニックネームを呼ぶと言われていますが、彼には是非頑張ってもらいたいと思っています。今回のオーストラリア代表、メンバー表だけ見れば、参加国の中ではずば抜けているのではないのでしょうか？昨シーズン、ミドルスブラでゴールを量産し、今シーズンはニューカッスルに多額の移籍金で引き抜かれたばかりのヴィドゥカをはじめ、チャンピオンリーグ決勝戦で長いリハビリから復帰したりバプールのキューウェルなどプレミアリーグやセリエ A でレギュラーを張る選手が目白押しของทีมです。アジアでプレーをすることに対する経験が少ないということはありませんが、ドイツで日本を破ったときのメンバーの大半が今回メンバーにいることから分かります、優勝してもおかしくないチームだと思います。

そして！いよいよナイキカップ世界大会があと 1 ヶ月とせまりました。

国内で今月 10 日から合宿を行い、22 日にニュージーランドを出発し、ロンドンで 1 週間の合宿をした後、マンチェスターに乗り込み、8 月 1 日から始まる大会に備えます。

次のコラムはイギリスからお送りできるとおもいます、どうぞ期待！！